その他のAPI

このドキュメントでは、**ActiveServer**で利用できる他のAPIエンドポイントの概要を説明します。

ヘルスチェック（GET/health/{token}）

サービスのステータスを返すヘルスチェックエントリーポイント。このエンドポイントを使用して、サービスが稼働しているか停止しているか、および現在のシステムパフォーマンスのデータを取得できます。

このエントリーポイントは、アプリケーションプロパティーファイルで次の構成を設定することで有効にできます。ランダムトークン値は、エントリーポイントの `{token}` を置換するために使用されます。

```
as.settings.health-check-token = <任意のランダムトークン>
```

> **重要**
>
> ヘルスチェックAPIを使用するには、上記のプロパティファイルにトークンを設定する必要があります。

HTTPステータスコード（200）応答

以下は、有効な構成済みトークンを使用してAPIが呼び出されたときのHTTPステータスコード `200` のJSONのHTTP応答の例です。

Copyright ©2026 GPayments Pty Ltd. All rights reserved.

```
{
  "status": "OK",
  "dbStatus": "OK",
  "dbProbeElapsed": 10,
  "version": "1.4.1.edesfd",
  "threads": 256,
  "pendingRequests": 0,
  "maxMem": 28900002,
  "currentMem": 1890001,
  "timestamp": "20201101T12:12:30"
}
```

- **status** - **ActiveServer**ステータスは、常に `OK` を返します。 ActiveServerがサービス停止している場合、応答HTTPステータスコードは `200` にはなりません。
- **dbStatus** - DBステータスは、常に `OK` を返します。データベースに問題が設定している場合、応答HTTPステータスコードは `200` にはなりません。
- **dbProbeElapsed** - DBのステータスチェックに要した時間。(単位:ミリ秒)
- **version** - 現在の**ActiveServer**バージョン。
- **thread** - 現在のワーカースレッドの数。
- **pendingRequests** - キュー内の保留中の現在のリクエスト数。
- **maxMem** - メモリサイズの最大数（単位:バイト）。
- **currentMem** - 現在のメモリ使用量（単位:バイト）。
- **timestamp** - 現在のUTC時間（形式: `yyyy-MM-dd'T'HH:mm:ss` ）

HTTPステータスコード（403）応答

ヘルスステータストークンが無効な場合、禁止されたHTTPステータスコードを取得する可能性があります。 HTTP応答の本文は次のようになります。

```
{
    "code": "2005",
    "message": "Access is denied."
}
```

- **code** - https://docs.activeserver.cloud/en/errors/で定義されているエラーコード
- **message** - エラーの説明。エラーが発生した理由が含まれています。

Copyright ©2026 GPayments Pty Ltd. All rights reserved.

HTTPステータスコード（501）応答

「as.settings.health-check-token」が設定されていない場合、`501 Not Implemented` が空のHTTP応答Bodyとともに返却されます。

Copyright ©2026 GPayments Pty Ltd. All rights reserved.